

つなげよう つながろう ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを
深めるための情報紙です。

自治会・団体の活動紹介や町民同士の
新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。

「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。



サマーチャレンジ in 柏崎 宝探しの様子

- ▶ サマーチャレンジ in 柏崎～笑顔が結ぶみんなの絆～(P2～3)
- ▶ 知ろう! 伝えよう! 双葉町～総合学習でつなげるふたばのわ～(P4～5)
- ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6) ▶ 町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・編集後記(P8)

■発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集: ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>

サマーチャレンジin柏崎

笑顔が結ぶみんなの絆

遠く離れた双葉の海を想いながら

7月13日、柏崎中央海岸で、せんだん双葉会主催でサマーチャレンジ in 柏崎が開催されました。双葉町郡山海岸で夏の恒例イベントだったサマーチャレンジを参考に、ビーチフラッグや宝探し、スイカ割り、プチサーフィン体験が行われました。

柏崎は子育て世代の避難者が多いため、日頃から仲の良い子どもたちが多く集まります。今回のイベントでは、柏崎の友達も参加し、約20人の子どもたちが元気に遊びまわりました。

サマーチャレンジの発案者は、せんだん双葉会の副会長、前田淳さんです。前田さんは震災前、双葉の海でライフセーバーの仕事をしていました。双葉の海には特別な想いがある前田さん。海で遊ぶ子どもたちの笑顔を見て、遠く離れた双葉の海を懐かしんでいるようでした。

世代を超えた交流

新潟県柏崎市周辺で避難生活を送る双葉町民による自治会「せんだん双葉会」は、平成24年9月18日に発足しました。

現在、せんだん双葉会の会長を務めているのは中野美保さんです。

「発足当時から会長を務めていた父親の後を継ぎ、今年4月から会長を務めています。せんだん双葉会は同世代の会員が多く、それぞれの子どもたちも同世代。イベントをやるときは子どもを中心に、大人も楽しめるような企画を考えています。」と中野さんは話します。

また、子どもだけでなく、大人が中心に楽しめるように、「釣りの会」もあります。これまで、元釣具店主による勉強会を皮切りに、大会や釣った魚の料理実演なども行われてきました。

せんだん双葉会は様々なイベントを通し、親子、また世代を超えた交流をすることで「コミュニケーションの維持、発展に努めています」。



地域を越えた交流

せんだん双葉会の活動拠点となっているのは、柏崎市被災者サポートセンターあまやどり。柏崎市の委託を受けて開設された交流施設です。毎月第2金曜日にせんだん双葉会の定例会が行われ、ており、みなさんの交流・お楽しみ場となっています。

このあまやどりで被災者のサポートをしているのが、せんだん双葉会の事務局も務める渡邊浩二さんです。

あまやどりの仕事で被災者の自宅を見守り訪問する際に、せんだん双葉会立ち上げの声掛けをしました。

「新潟の冬は3カ月間太陽を見ることができず、気分も沈みがちになる。そんな時に定例会へ来てみんなと会い、すっきりした様子で元気に帰って行く姿を見た時は、自治会を立ち上げて本当に良かったと実感した」と話します。

あまやどりでは浪江町、大熊町、富岡町の自



前田淳さん



中野美保さん



渡邊浩二さん



柏崎市被災者サポートセンターあまやどり

治会の交流の場にもなっている他、エコクラフトやパッチワーク教室なども行われています。そういったつながりもあつたことから、双葉郡としての活動も考えていきたいという声上がり、今年3月11日には双葉郡4つの自治会が合同追悼式を行いました。

新潟県では平成16年に中越大震災、平成19年には中越沖地震が発生しました。東日本大震災以降、その被災経験を活かした被災者支援を続けています。「コミュニティの維持・発展のため、被災者に寄り添いながらも、住民主体の活動を陰ながら支えます。

地域の方と協力し合いながら、お楽しみ場の交流の機会を作っているせんだん双葉会。遠く離れた地でもたくさんの方に支えられ、双葉の絆は強くなっています。



4月に開校した町立学校。1学期の終わりに小学校の総合学習を利用して、6年生2人に「ふたばのわ」の記事作成を体験してもらいました。全3回の授業では、文章作成や取材方法、デザイン・レイアウトについて学びました。講師はふたさぼ小林。いつもと違った雰囲気授業に2人もわくわくしている様子でした。

(以下記事は、双葉北小学校6年生の2人が作成した文章をもとに、ふたさぼが編集を行ったものです)



知ろう！ 伝えよう！ 双葉町



総合学習でつなげる
ふたばのわ

双葉町の好きなおところ、 自慢できるおところ

7月3日木曜日。いわき市南台応急仮設住宅へ訪問し、住民のみなさんにインタビューをさせていただきました。テーマは、双葉町の好きなおところ・自慢できるおところ。14の方に参加していただきました。

みなさんは、たくさんのお話を聞かせてくれました。双葉町の建物、場所、自然、仕事、歴史。そのたくさんのお話を聞いて、双葉町の風景が目に見えました。

町民のみなさんの知恵ぶくろ 双葉町図書館

双葉町図書館は、本を読んだり、本を借りたりするのは当然ですが、ちょっとよい勉強の場にもなっていたそうです。「よくあそびでテスト勉強したな...」と思いつきながら語っていただきました。

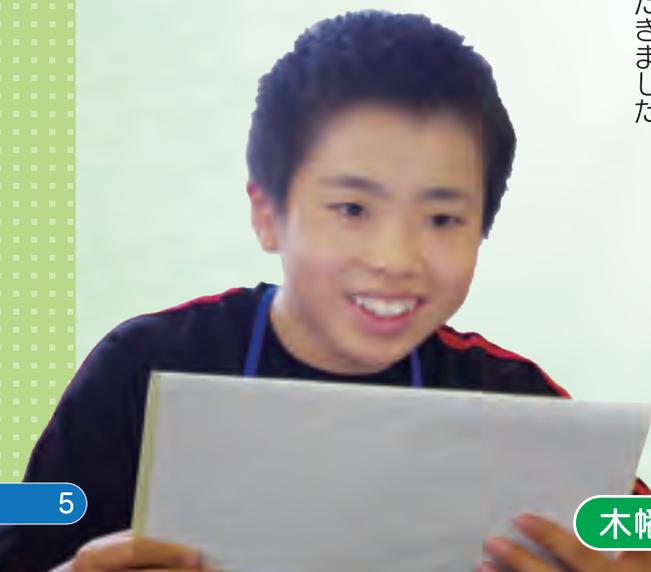
双葉町図書館は、もともと中学校だったそうです。その話が、一番驚きました。たしかに、双葉町でもかなり広い建物だと思った事はありませんが、その場所に中学校があったとは思いませんでした。中学校の体育館は、隣に児童館を建てる際、引っばってずらしたそうです。



南台応急仮設住宅のみなさん



記事づくりを学ぶ子どもたち



木幡穰清くん



みんなのすきなところナンバーワン
双葉町郡山海岸

みなさんの大切な思い出の場所。そんなお話をたくさん聞けたのは、双葉町郡山海岸でした。

「快水浴場百選になるほど海がきれいで、魚がたくさん釣れた」「バーベキューやログハウスなどの施設もあり、たくさんの人が海岸で楽しんでいた」などの色々なお話が聞けました。

1月1日には、太平洋から昇る、初日の出を見ることを楽しみにしていたという人もいました。双葉町は自然豊かで、綺麗な風景が広がる場所がたくさんあったのだと教えてもらいました。またいつか双葉町に行きたいと思いました。

双葉の願いと夢

最後に、今楽しみな事や、これから楽しみな事を聞きました。みなさんが口をそろえて話すのは「孫の成長」です。お孫さん思いのやさしいおじいちゃん、おばあちゃんだなあと思いました。

次にお話いただいたのが、双葉町の「早期復興」です。双葉町が本当に好きで、「双葉町の事を一時も忘れた事はない」と深く語ってらっしゃいました。「双葉町にいたころから、仲の良かった友達を訪ねて、お話をするのが楽しみ」という方もいました。昔の友達を忘れないというその心にも深く共感しました。

「以前の双葉町のようにみんな仲良くやっていきたい」「今後の双葉町がどのように発展していくか見届けたい」と未来の双葉町に思いをはせる方もいました。

インタビューを終えて

みなさんそれぞれに、色々な思い出があり、双葉町で過ごした時間が短い自分達にとっては、とても興味深い話でした。

双葉町を忘れない。みなさんの想いをまとめるとこんな言葉になりました。いまでも双葉町のことを想っているからこそ、皆さんの素敵なお話が聞けたのだと思います。みなさんが、双葉町の事を大切な思い出として大事にしていることが分かり、尊敬の念をいただきました。



野村遥花さん

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



6月4日
つくば生活学級
(つくば市)



6月10日
こおりやま生活学級
(郡山市)



6月12日
しらかわ生活学級
(白河市)



6月17日
あいづ生活学級
(会津若松市)



6月20日
みなみだい生活学級
(いわき市)



6月25日
いわき生活学級
(いわき市)



6月26日
なごそ交流スペース
双葉町ママサロン
(いわき市)



6月26日
サポートセンターひだまり
ダルマ絵付け教室
(いわき市)



6月27日
県北ふたば会交流会
(福島市)



6月27日
かぞ生活学級
(加須市)



6月28日
県中借上げ住宅自治会
定例会(郡山市)



6月28日
びえろのあそびひろば
(加須市)



7月2日
双葉町老人クラブ連合会
グラウンドゴルフ大会
(いわき市)



7月3日
さくら仮設住宅
双葉町サロン(福島市)



7月4日
南相馬にこにこサロン
(南相馬市)



7月7日
いきいきサポートセンター
古代ハス見学
(行田市)

町からのお知らせ

募集

福島県林業研究センターの臨時職員を募集しています



【業務内容】

- (1) 林業研究センター内の環境整備 1名
 ・庁舎内外の清掃・庭木の手入れ
 ・施設等の簡易な修繕 等
- (2) 林業研究センター内の圃場・森林の管理 2名
 ・圃場の除草、苗の植え付け
 ・森林の下刈り 等

【応募資格】

東日本大震災による津波や原子力災害の影響などにより避難を余儀なくされている方(性別、年齢、資格、経験等は問いません。)

【賃金等】

- (1) 賃金 1日 5,890円
 (2) 通勤手当 正規職員に準じて支給(ただし、勤務1日単位で支給)

【勤務期間等】

- (1) 雇用期間:雇用の日から6カ月以内(短期間でも可、更新の可能性あり)
 (2) 勤務時間:午前8時30分～午後5時15分(休憩 午後0時～午後1時)
 (3) 有給休暇:5カ月以上の雇用予定の場合、2カ月勤務後に5日間

【社会保険等】

健康保険、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入

【採用条件】

- (1) 提出書類:履歴書(写真添付)・避難されていることを証明できる書類
 (2) 面接:採用は面接により決定します(面接は随時実施)

【問い合わせ先】

郡山市安積町成田字西島坂1
 福島県林業研究センター 事務局 安藤義次
 ☎024-945-2160

この雇用は、国の緊急雇用創出事業(震災等緊急雇用対応事業)であり、東日本大震災による津波や原子力災害の影響などにより避難を余儀なくされている方の**一時的な雇用の場を提供する事業**です。

相談

要予約・相談無料

不動産鑑定士による無料相談を実施しています



福島県では、福島県不動産鑑定士協会と連携し、不動産鑑定士による対面の相談を実施しています。東京電力による宅地・建物に関する損害賠償請求についての疑問点について、助言を聞くことができます。相談できることは、『宅地・建物の賠償額の見方や算定の方法について』、『宅地・建物の「現地評価」の実施について』となっております。

不動産鑑定士が評価額を算定したり、賠償額を示したりするものではありませんのでご注意ください。なお、相談には事前の予約が必要となっておりますので、下記受付番号までご連絡いただきますようお願いいたします。 **※要予約、相談無料**

【対象者】

避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に宅地、建物を所有する個人の方で、**東京電力から「請求書②」が手元に届いた方。**

【相談時間】

30分(13時から16時25分の間に実施)

【ご持参いただく書類】

- (必須)東京電力が配布する「賠償金ご請求書②」

(個人)一式

- (できるだけ)写真、建設図面、工事請負書 等
 ※建物の写真を撮影して持参される方は、以下の点をご参考に写真をご準備ください。
 ◇建物外部の全景写真
 ◇建物内部の部屋全体の様子がわかる写真
 ◇賠償額に含まれていないと思われる高額な設備がある場合はその写真
 ◇特殊な部材、建設方法を採用している場合はその部分の写真

宅地、建物の財物賠償手続を開始するには、市町村から送付された「固定資産課税情報の明細書」(※)を東京電力へ送付する必要がありますので、未送付の方は送付するようお願いいたします。(※南相馬市、川俣町の方は、「固定資産課税台帳記載情報の取得に関する委任状。)

実施予定日・場所(8月～9月)

実施市町村	実施日	実施会場(所在地)
福島市	8月 20日(水)	福島県青少年会館 第3研修室 (福島市黒岩字田部屋53-5)
	9月 19日(金)	
郡山市	8月 26日(火)	福島県郡山合同庁舎 第4会議室 (郡山市麓山1-1-1)
	9月 25日(木)	
会津若松市	8月 25日(月)	福島県会津若松合同庁舎 本館1階会議室 (会津若松市追手町7-5)
	9月 26日(金)	
南相馬市	8月 21日(木)	福島県南相馬合同庁舎 南庁舎101会議室 (南相馬市原町区錦町1-29)
	9月 16日(火)	
いわき市	8月 11日(月)28日(木)	福島県いわき合同庁舎 4階中会議室 (いわき市平字梅本15)
	9月 8日(月)29日(月)	

【事前予約受付番号】

☎024-523-1501

(原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口(原子力損害対策課内))
 【受付時間】午前8時30分から午後5時15分(平日)

※原子力損害賠償支援機構では、福島県外のご相談も受け付けておりますのでお問い合わせください。

予約受付番号☎0120-330-540(毎日9時～17時)



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成26年7月25日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅… 0.16~0.29
- ②福島市 さくら応急仮設住宅… 0.13~0.14
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅… 0.15~0.32
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅… 0.11~0.58
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅… 0.23~0.34
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅… 0.05~0.07
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅… 0.07~0.08
- ⑧会津若松市 城前応急仮設住宅… 0.09~0.10
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅… 0.10~0.17
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所… 0.25
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎… 0.15
- ⑫白河市 県白河合同庁舎… 0.11
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎… 0.07

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎… 0.05
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎… 0.12
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎… 0.08



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成26年 7月25日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	1.20
新山	新山公民館	—	0.67
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.58
新山	双葉南小学校	—	0.74
新山	双葉中学校	—	1.05
新山	県立双葉高等学校	—	1.36
新山	中央公園	—	0.87
下条	双葉総合公園	2.60	1.55
下条	双葉町役場	—	0.44
郡山	郡山公民館	1.48	0.86
細谷	細谷公民館	2.31	1.14
三字	三字公民館	2.53	1.45
山田	山田農村広場	24.47	12.09
石熊	石熊公民館	12.10	6.24
長塚	双葉町体育館	6.25	3.05
長塚	長塚二公民館	3.26	1.59

地区	地点	平成24年 4月1日	平成26年 7月25日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	3.30
長塚	町西住宅	—	0.71
長塚	JAふたば北部営農センター	—	9.82
長塚	双葉北小学校	—	2.87
長塚	ふたば幼稚園	—	2.52
長塚	双葉駅北側駐車場	—	1.73
長塚	双葉町児童館	—	0.54
羽鳥	上羽鳥	1.89	1.14
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.90
寺松	寺松公民館	3.46	1.98
渋川	渋川公民館	1.48	0.81
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	2.60
中田	中田公民館	0.77	0.46
両竹	両竹公民館	0.54	0.31
浜野	浜野公民館	0.34	0.20

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

双葉町夏の風物詩であったサマーチャレンジが、今年も日本海で行われました。双葉の海で遊ぶのが好きだったせんだん双葉会のみなさん。その思い出を子どもたちにも伝えたいという気持ちが、イベントを通じて伝わってきました。

双葉北小では講師として教壇に立たせていただきました。小学生の真っ直ぐな眼差しを向けられ、緊張感でいっぱい。町の

ことを知りたいというその強い気持ちに頼もしさを感じながら、私としても貴重な時間を過ごさせていただきました。

子どもたちの笑顔は、みんなを元気にさせます。これからもそんな笑顔を伝えていきたい。笑顔でつなくふたばのわをこれからも作っていきたいと思います。



「ふたばのわ」に参加しませんか？

「ふたばのわ」では「後世に残したい双葉町」をテーマに、みなさんから写真を募集しています。お名前・出身行政区を記載の上、以下の方法でご送付をお願いします。

【郵送の場合】〒974-8212 福島県いわき市東田町2-19-4
「双葉町いわき事務所内ふたさぼ」宛

【メールの場合】info@futabamachi-s.com

(写真例)



ご応募
お待ちしております
います！

